

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」四軒家校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりの特性、状況に合った支援プログラムを作成して支援を行っています。	支援後にフィードバックの時間を設け、支援を通してできるようになったこと、成長した点、今後の課題などを保護者様に伝えて情報の共有を図らせていただきます。	利用者の進路相談、中学受験対策、高校受験対策、面接の練習なども含め、受験生のサポートも積極的に行っていきます。
2	職員間のコミュニケーションが活発で風通しの良い事業所です。	毎日のミーティングを通して情報共有を図り、職員間の連携を高めるようにしています。	職員間で常にコミュニケーションを取り、担当していない利用者の状況も把握できるように情報の共有を図り、事業所全体できめ細かいサポートを提供できるようにしていきます。
3	事業所前にある駐車場のスペースが広く車を駐車しやすいです。		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化によるリスクを低減させることです。	利用者にも、職員にも、居心地の良い空間になるように職員全員で毎朝清掃を行い、事業所内の清潔保持、整理整頓に努めます。	蟻、ゴキブリなどの昆虫類の防除対策を進めていきたいと考えています。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」四軒家校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 2 名

回収数 2 名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					・利用者様の年齢や特性、支援内容により個室と広いスペースを使い分けています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					・定員に対して、基準以上の配置ができています。また、複数担当制による業務の力バリエ体制を構築しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					・現在、スロープや手すりなどが必要な利用者様は通所しておりませんが、今後、必要な利用者様にご利用されるときは適切に対処いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2					・毎朝、清掃とアルコール消毒を行い、活動の場を整理整頓しています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					・保護者様に要望を伺った上で、NCプログラム（認知・言語促進プログラム）に沿った課題に取り組みるように支援計画を作成して支援を行っています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					・保護者様とモニタリングを行い計画案を作成、原案をもとに職員全員参加型会議を実施し個別支援計画を作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					・指導員全員が個別支援計画作成に関わり支援内容が共有されているため、計画に沿った支援を行うことができています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					・保護者様の要望を踏まえつつ、利用者様が興味関心を持って楽しく課題に取り組めるように教材や内容を工夫してプログラムを作成しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1			1		・地域交流会については限られた支援時間の中で実施が難しいことから現在、実施しておりません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば個別支援計画に組み込んだ上で実施いたします。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					・契約時に、規運営定、利用者負担額などについて説明を行っています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					・「児童発達支援計画（個別支援計画）」の内容を確認していただき、問題があればサインをお願いしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1			1		・コロナ禍以降、行っておりません。今後、要望があれば検討いたします。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					・支援終了後、フィードバックの時間を設け、子どもの状況や課題について伝え合い、共通理解を図るようにしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			1		・父母の会、保護者会はありません。今後、要望があれば検討いたします。

	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2					・頂いた相談や申し入れに対しては、職員全員で共有し、会議で対応等について決定後、迅速かつ適切に対処しています。また、「相談支援」の時間を設けて相談に応じています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					・保護者様に関しては、配慮が必要な方はいらっしゃいませんが、利用者様には、意思形成も含め、何らかの伝達手段が獲得できるよう取り組んでいます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2					・定期的に、HPを更新し、活動概要やお知らせ、連絡体制等の情報を利用者様及び、保護者様に対して発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					・個人情報に記載された書類はの鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					・定期的に業務継続計画を見直し、避難、救出、その他必要な訓練を行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修に参加する機会を設け、安全管理が十分された中で支援を行うように配慮しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」四軒家校		2026年 2月 14日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用者様の年齢や特性、支援内容により個室と広いスペースを使い分けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・定員に対して、基準以上の配置ができています。また、複数担当制による業務のカバー体制を構築しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			・現在、スロープや手すりなどが必要な利用者様は通所しておりませんが、今後、必要な利用者様にご利用されるときは適切に対処いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝、清掃とアルコール消毒を行い、活動の場を整理整頓しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			・職員一人ひとりが参画する意識を持てるように努めています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・年に1回実施しています。	・ご要望に対して改善できていない部分は改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎日のミーティングで職員の意見を出し合うことができており、改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在、外部評価は受けていませんが、今後、必要に応じて実施を検討いたします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的に研修に参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムを作成、公表をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・保護者様に要望を伺った上で、NCプログラム（認知・言語促進プログラム）に沿った課題に取り組めるように支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・保護者様とモニタリングを行い計画案を作成、原案をもとに職員全員参加型会議を実施し個別支援計画を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員全員が個別支援計画作成に関わり支援内容が共有されているため、計画に沿った支援を行うことができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・季節のイベントなどを計画し活動プログラムの立案をチームで行うように努めています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・保護者様の要望を踏まえつつ、利用者様が興味関心を持って楽しく課題に取り組めるように教材や内容を工夫してプログラムを作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			・個別活動を希望の利用者様には集団活動への支援は行っていません。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝、ミーティングで確認しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・振り返りは、次の日の朝、ミーティングで確認し共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・支援後、担当した職員が支援記録を作成します。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを行い適切な見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・適宜、サービス担当者会議に参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・個別支援計画や支援記録などの情報を提供できる体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・個別支援計画や支援記録などの情報を提供できる体制を整えています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○	・個別支援計画や支援記録などの情報を提供できる体制を整えています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・地域交流会については限られた支援時間の中で実施が難しいことから現在、実施しておりません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば個別支援計画に組み込んだ上で実施いたします。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・支援終了後、フィードバックの時間を設け、子どもの状況や課題について伝え合い、共通理解を図るようにしています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			・コロナ禍以降、行っておりません。今後、要望があれば検討いたします。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に、規運営定、利用者負担額などについて説明を行っています。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・モニタリングを行い、保護者様の要望を踏まえつつ家族の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・「児童発達支援計画（個別支援計画）」の内容を確認していただき、問題がなければサインをお願いしています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・支援終了後のフィードバックや定期的に行っているモニタリングの時間を利用して保護者様の相談に応じています。また、時間が足りない時は「相談支援」の時間を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		・父母の会、保護者会はありません。今後、要望があれば検討いたします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・頂いた相談や申し入れに対しては、職員全員で共有し、会議で対応等について決定後、迅速かつ適切に対処しています。また、「相談支援」の時間を設けて相談に応じています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・定期的に、HPを更新し、活動概要やお知らせ、連絡体制等の情報を利用者様及び、保護者様に対して発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報が記載された書類はの鍵付きの書庫に保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・保護者様に関しては、配慮が必要な方はいらっしゃいませんが、利用者様には、意思形成も含め、何らかの伝達手段が獲得できるよう取り組んでいます。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・現在は実施していませんが、今後必要があれば実施を検討いたします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に業務継続計画を見直し、避難、救出、その他必要な訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時に「児童調査票」に記入していただいています。	・予防接種の確認はできていません。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修に参加する機会を設け、安全管理が十分された中で支援を行うように配慮しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例が起こった際には報告書を作成し、職員間で情報を共有し再発防止に向けて話し合う機会を設けています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・社内の法令上必須研修に参加し、適切な対応を学ぶ機会を確保しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			